

## カリキュラム4

### タイトル

生きものの力を活かした米づくり（小・中学校/理科：身近な自然の観察・社会：特色ある地域）

### 対象学年・分野

小学校 低学年	小学校 高学年	中学校	高校	社会人	学校 教育	学校外 教育	研修	社会 学習
	○	◎		○	○	◎		○

### 学習のねらい

- 人工の自然であるたんぼを題材に、人間の食料となる米の生産と多様な生きもののいる自然環境が密接に関わっていることを理解する。
- 多様な生きものの力を借ることがおいしいお米づくりにつながることから、多様な生きものの生息環境を人工的に作りながら自然の力を利用した農法「ふゆみずたんぼ」を題材に、自然を保全することと人の暮らしを結びつける。
- 地域ごとに特徴のある農法などを調べ、どうやって自然の力を借りながら人間の食べものが生産されているかを考える。

### キーワード

ふゆみずたんぼ(冬期湛水(たんすい)水田)、田んぼの生きもの調査、人工の自然、農業と環境、水田、環境認識、環境保全、自然再生力

### 映像教材

映像	内容	登場する 動植物・景観	副教材	【参考】学習指導 要領の関連事項
⑤【展開・まとめ】 ふゆみずたんぼが 大切な理由 (time03:06)	冬にも水を張り、水辺の生きもの棲みかとなる「ふゆみずたんぼ」を紹介。「たんぼの生きもの調査」では、様々な水辺の生きものが見つかること、田んぼの土も生きものによってつくられていることを学ぶ。東日本大震災の田んぼの復旧風景などを取り上げる。	冬の田んぼ、NPOインタビュー、生きもの調査の様子	● 田んぼのいきものつながり(イラスト) ● 田んぼの写真 ● 小さな生きものイラスト	理科：身近な自然の観察、生物の観察 社会：特色ある地域、地域の生活環境を守るための活動

### 学習展開例

学習展開	主な学習活動	ポイント	提供教材・ツールの活用例
導入	[問題設定] 米と日本人とのつながり	・昔話や古文書などを参考に、日本人とお米のつながりを振り返る	
問題設定	[問題設定] 昔と今、日本人と米のつながりの変化	・お米の作られ方や食べられ方も、現代の食生活や生産性を高めた農法、自然環境の変化により変化している	● 田んぼのいきものつながり(イラスト)
展開・まとめ	[問題設定] 昔ながらの方法でつくるお米の理由 [映像] 自然の力を利用した農法の紹介と生きものを守る理由	・おいしいお米作りの理由を多様な生きもの存在に関連づけ、環境保全の重要性を学ぶ	● 映像⑤「ふゆみずたんぼが大切な理由」(インタビュー) ● 田んぼの写真、生きものイラスト

### ●教材活用時ポイント●

- ふゆみずたんぼは、地域の気象や圃場条件に左右されることや、農法(基本的に「無農薬栽培圃場」という土壌生物が豊富である圃場を前提)に関する考え方の違いから実施については地域差があることに留意。
- 田んぼに限らず、地域の農水産物で自然の力をうまく利用した栽培・収穫方法等、実践の取組を調べてさせてもよい。
- ふゆみずたんぼで収穫されたお米を実際に食べてみるのもよい。

<補足情報> 国内の主な「ふゆみずたんぼ」実証地域

宮城県蕨栗沼(かぶくりぬま):<http://kabukuri-tambo.jp/>

兵庫県豊岡市:<http://www.city.toyooka.lg.jp/hp/genre/agriculture/farming/guide.html>

長野県安曇野市:[http://www.city.azumino.nagano.jp/mizu\\_monogatari/torikumi/ifuyumizutanbo.html](http://www.city.azumino.nagano.jp/mizu_monogatari/torikumi/ifuyumizutanbo.html)